

平成 21 年 10 月 28 日

各 位

会 社 名 セガサミーホールディングス株式会社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 会 長 兼 社 長
里 見 治
(コード番号 6460 東証第一部)
問 合 せ 先 グループ代表室長兼グループコミュニケーション室長
上 田 晃 一 郎
(電話番号 03-6215-9955)

当社子会社（株式会社セガトイズ）の平成 22 年 3 月期業績予想の修正、
特別損失の発生並びに配当予想の修正に関するお知らせ

当社子会社である株式会社セガトイズは、平成 21 年 4 月 28 日付にて発表いたしました平成 22 年 3 月期の通期連結・個別業績予想の修正、ならびに特別損失の発生、配当予想の修正について、別添のとおり発表いたしましたのでお知らせいたします。

本件による当社業績への影響は軽微であり、当社業績予想の修正はございません。

《添付資料：セガトイズ開示資料

「平成 22 年 3 月期業績予想の修正、特別損失の発生並びに配当予想の修正に関するお知らせ」》

以上

各 位

会社名 株式会社セガトイズ
 代表者名 代表取締役社長 國 分 功
 (JASDAQ コード 7842)
 問合せ先 専務取締役コーポレート本部長 菅野 暁
 電 話 03-5822-6244

平成 22 年 3 月期業績予想の修正、特別損失の発生 並びに配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 21 年 4 月 28 日に公表した平成 22 年 3 月期（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）の通期連結・個別業績予想を修正するとともに、特別損失が発生することになりましたのでお知らせいたします。また、本業績予想の修正を受けまして、当期の 1 株当たり配当予想についても修正いたしますので併せてお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 平成 22 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	19,500	427	400	317	14.76
今回発表予想 (B)	18,000	△180	△200	△1,500	—
増 減 額 (B-A)	△1,500	△607	△600	△1,817	—
増 減 率 (%)	△7.7%	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	18,947	△87	△98	△114	—

(2) 平成 22 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	17,700	400	377	296	13.76
今回発表予想 (B)	17,000	20	10	△1,650	—
増 減 額 (B-A)	△700	△380	△367	△1,946	—
増 減 率 (%)	△4.0%	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	17,371	81	100	27	1.30

(3) 修正の理由

①連結業績予想

連結売上高につきましては、海外販売における男児キャラクター「爆丸」のヒットにより引き続き好調に推移することが見込まれるものの、国内販売につきましては、ファミリー向けに「家あげ花火」、シニア層向けに「夢ねこヴィーナス」などの新製品を発売し、子供向け純玩具だけではなく大人や家族向けの新たな市場の開拓を図っておりますが、消費不況の影響もあり当初計画を下回る見通しです。また、既存玩具につきましては、「つきたておもちゃ くるりんもっちー」などのクッキング玩具製品は好調に推移しているものの、アンパンマンシリー

ズや夢ペットシリーズ、「ジュエルペット」関連製品等の売上が当初計画を下回る見通しです。さらに、連結子会社である株式会社タイヨーの販売が不振であること等により、前回発表予想の修正を行うものであります。

利益面につきましては、売上総利益率の高い国内販売の大幅な落ち込みや事業再構築に伴う特別損失の計上等に伴い前回発表予想を下回る見込みです。

以上の結果、売上高 18,000 百万円（前回発表値と比較して 1,500 百万円の減少）、営業損失 180 百万円（前回発表値と比較して 607 百万円の減少）、経常損失 200 百万円（前回発表値と比較して 600 百万円の減少）、当期純損失 1,500 百万円（前回発表値と比較して 1,817 百万円の減少）を見込みます。

②個別業績予想

個別業績は、連結業績予想と同様の理由により、売上高 17,000 百万円（前回発表値と比較して 700 百万円の減少）、営業利益 20 百万円（前回発表値と比較して 380 百万円の減少）、経常利益 10 百万円（前回発表値と比較して 367 百万円の減少）、当期純損失 1,650 百万円（前回発表値と比較して 1,946 百万円の減少）を見込みます。

2. 特別損失の発生について

(1) 連結

今後の収益改善に向けた取り組みとして、人件費を中心とする固定費の削減等により 630 百万円、株式会社タイヨーの解散及び清算に伴う費用 450 百万円等の計上を見込みます。

(2) 個別

今後の収益改善に向けた取り組みとして、人件費を中心とする固定費の削減等により 630 百万円、株式会社タイヨーの株式の評価減及び貸倒引当金の計上等により 810 百万円等の計上を見込みます。

なお、連結・個別とも人件費を中心とする固定費削減の具体的施策につきましては、内容が確定し次第公表いたします。

3. 平成 22 年 3 月期の配当予想の修正について

(1) 配当予想の修正の内容

1 株当たり配当金					
(基準日)	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	年間
前回予想 (平成21年 4 月 28 日)	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 5.00	円 銭 5.00
今回修正予想	—	—	—	0.00	0.00
当期実績	—	0.00	—	—	—
前期 (平成21年 3 月期) 実績	—	0.00	—	0.00	0.00

(2) 配当予想修正の理由

当社は、株主の皆様への利益還元につきましては、業績や事業展開を勘案し、企業体質の強化や安定的な経営基盤の確保に努めるとともに利益状況に応じて安定的な配当を継続していくことを基本方針としております。しかしながら、上述のとおり、平成 22 年 3 月期につきましては通期業績予想が前回予想を下回り、かつ大幅な赤字を計上せざるを得ない状況であることを踏まえ、誠に遺憾ではございますが期末配当を無配とさせていただきます。

※上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上